

地域別の特性等

	東葛・湾岸ゾーン	印旛ゾーン	香取・東総ゾーン	九十九里ゾーン	南房総・外房ゾーン	内房ゾーン
人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> 県人口の65%に当たる約400万人が居住 ゾーン内の高齢者の割合は24%と、県全体の割合より低く、また、生産年齢人口が62%と、年齢構成の若いゾーン 2030年のゾーン内の人口は概ね横ばいであるが、高齢化率は28%と予想 都内への通勤・通学者が多く、日常生活における東京とのつながりが強い地域 	<ul style="list-style-type: none"> 県人口の11%に当たる約70万人が居住 ゾーン内の高齢者の割合は25%と、県全体の割合と同程度、また、生産年齢人口の割合は61%で、年齢構成の若いゾーン 2030年のゾーン内人口は約68万人、高齢化率は32%と予想 東京や千葉市への通勤・通学者の割合が多い一方、昼夜間人口比が100%を大きく超える地域もあるなど、周辺市町村に対して大きな吸引力を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 県人口の4.5%に当たる約28万人が居住 ゾーン内の高齢者の割合は32%と、高齢化率が比較的高い地域 2030年のゾーン内の人口は約22万人、高齢化率は40%と予想 成田市と茨城県への通勤・通学者が比較的多く、日常生活においてこれらの地域とのつながりを感じる地域 	<ul style="list-style-type: none"> 県人口の6%に当たる約36万人が居住 ゾーン内の高齢者の割合は30%と、県全体の割合より高い 2030年のゾーン内の人口は約31万人、高齢化率は41%と予想 JR外房線、東金線、総武本線のほか、圏央道や千葉東金道路を活用した都心を含む多方面へのアクセスが良好で、通勤・通学圏。 	<ul style="list-style-type: none"> 県人口の3%に当たる約20万人が居住 ゾーン内の高齢者の割合は39%と、高齢化率の高い地域 2030年のゾーン内の人口は約16万人、高齢化率は46%と予想 県外への通勤・通学者の割合は1%以下と県内で最も少なく、市町村別の昼夜間人口比率は平均95%とゾーン内で活動している人の多い地域。 	<ul style="list-style-type: none"> 県人口の10%に当たる約60万人が居住 ゾーン内の高齢者の割合は27%と、県全体の割合より高い 2030年のゾーン内の人口は約55万人、高齢化率は32%と予想 アクアラインなどの交通網整備の効果により、東京・神奈川方面や県内各地など多方面への通勤・通学圏となっている
産業	<ul style="list-style-type: none"> 企業や大学、研究機関が集積する産業基盤の充実した地域 東葛地域は、技術力のある企業が数多く立地し、大学や研究機関等の集積を活かし、医療、バイオテクノロジーなどの先端技術産業分野の研究開発や、ベンチャー企業の育成なども活発に展開 湾岸地域は、国際拠点港湾の千葉港を有し、鉄鋼や食品などの企業集積が進み、国内有数のテーマパークや大型商業施設なども立地 	<ul style="list-style-type: none"> 成田空港を擁し、空港内は約4万人に及ぶ就業の場となっているほか、空港周辺や臨空工業団地を中心に物流関係企業や空港関連産業の集積が進んでいる 千葉ニュータウンでは、住宅のほか、企業や大学等の業務・教育施設の集積が図られており、近年では、世界的企業も利用するマルチテナント型の先進的物流施設群、データセンターなどの立地が進んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 県内最大の農業産出額を誇り、農業が地域の基幹産業として発展している 水産業では、全国トップクラスの水揚げ量を誇る銚子漁港を擁するとともに、大量に水揚げされた水産物を利用した多様な水産加工業が集積する全国有数の水産基地を形成 「日本ジオパーク」に認定されている犬吠埼や屏風ヶ浦などの多様な地形や豊かな自然、太平洋や利根川などを望む雄大な景色を有する 	<ul style="list-style-type: none"> 日本有数の砂浜と松の緑が美しい九十九里浜や水田などが広がる九十九里平野、緑豊かな里山風景を擁する房総丘陵など多彩な自然に恵まれている サンブスギなどの森林資源も全国的に有名で、本県林業の中核を担う地域 水産業は、イワシやハマグリなどの資源に恵まれ、これらを使用した水産加工業も盛んに行われている 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの恵まれた漁場を有していることから数多くの漁港が存在し、和田漁港は関東唯一の捕鯨基地として特徴ある地域の食文化を形成している。 温暖な気候と海や緑豊かな自然環境に恵まれ、多くの観光施設や宿泊施設などがある観光業の盛んなゾーン 地元の新鮮な農林水産物や加工品等を販売するだけでなく、農業体験のメニューもあり、魅力ある地域資源を集約した観光の要となっている 	<ul style="list-style-type: none"> 日本を代表する素材・エネルギー型産業の工業地帯が形成 研究開発施設や製薬、新素材など幅広い産業が立地 県内の製造品出荷額等の半分以上を占め、今後、本県経済のけん引役として重要な役割が期待される
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 人口密度が高く、また、鉄道網の発達により主要駅周辺を中心に、商業・アミューズメント施設や高層住宅など様々な都市機能が集積する一方で、東京湾、江戸川、手賀沼などの豊かな水辺空間や下総台地など、生活の潤いとなる自然環境も残されている 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道や幹線道路の整備を背景として東京への通勤圏が拡大し、千葉ニュータウンなどの計画的で大規模な市街地の整備をはじめ、鉄道沿線等における住宅地の開発が進んできた 千葉ニュータウンにおいては、優れた環境の居住機能と業務・研究機能を併せ持つ複合都市づくりが計画的に進められるとともに、成田スカイアクセス開業により、空港へのアクセスが飛躍的に向上した 	<ul style="list-style-type: none"> 自然景観や歴史・文化などの地域資源を有効に活用し、各地で個性豊かなまちづくりが進められている 圏央道は、大栄・横芝間で整備が進められているほか、暫定2車線区間の4車線化と併せて、休憩施設として道の駅と連携したパーキングエリアが整備される予定 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道路線や圏央道が地域内を縦断しており、これらを利用した東葛・湾岸ゾーン、都内への通勤・通学圏として、住宅地等の整備が進められてきた 県内で初めてブルーフラッグを取得した山武市の本須賀海岸をはじめ、多くの海水浴場が存在するとともに、体験型観光などが盛ん 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然や歴史、文化等の地域資源を生かしたまちづくりが進められており、温暖な気候や海を生かしたリゾート地のほか、先進医療機関を生かした医療・介護のまちづくりも進められている 温暖な気候や魅力あるまちづくり、道路ネットワークの整備進展などにより、首都圏における移住・定住先としての人気が高い 	<ul style="list-style-type: none"> アクアラインなどを利用した各方面への通勤・通学圏としての優位性が高まっており、千葉県の玄関口であるアクアライン着岸地周辺は、大規模な土地区画整理事業により、道路、住宅地、商業施設等の整備が進められている 圏央道などの整備進展による利便性向上等の効果を他ゾーンに波及させるアクセス道路の整備も進めている 計画的で住みよいまちづくりと道路ネットワークの整備進展により、居住地としての人気が高まっている
ゾーンの方向性	<ul style="list-style-type: none"> 東京に隣接し、人口密度が高いことから、新たな感染症の発生時における迅速な対応や、災害発生時における帰宅困難者対策、広域避難などの対応が迫られるため、各市と連携して対策を推進する 東葛地域では、理工系大学や研究機関、優れた技術を有する中小企業などの集積を生かし、産学官連携の取組を進め、ものづくり産業の振興を図る 幕張新都心では、新駅設置の効果として期待される、利便性や回遊性の向上などを追い風に、更なるMICE誘致などの取組を推進する 北千葉道路など各種道路整備の進展を踏まえ、各市と連携し、企業誘致の受け皿となる産業用地の確保に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 空港の更なる機能強化、圏央道やそれにアクセスする国道及び県道などの整備効果を生かし、空港周辺地域の活性化を図る 市町と連携して計画的な土地利用を進め、インターチェンジ周辺等の多様な産業の受け皿づくりを促進する 千葉ニュータウン周辺地域は、多様な産業集積や居住の場としての魅力が向上していることから、企業立地の促進や交通便利性等の地域の魅力を積極的に発信し、人口増加につなげる 日本遺産等の歴史的資源の活用などにより、外国人観光客も意識した観光地づくりに取り組み、国内はもとより、訪日外国人旅行者の更なる誘客を図る 空港の更なる機能強化や交通便利性向上によ 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹産業である農林水産業の経営力強化を図るとともに、空港を活用した海外輸出等による販路拡大に取り組む 市町と連携して計画的な土地利用を進め、インターチェンジ周辺等の多様な産業の受け皿づくりを促進する 自然景観や歴史・文化などの地域資源を生かした観光を推進するとともに、訪日外国人旅行者も意識したプロモーションを推進し、成田空港からの更なる誘客を促進する 多様な産業展開や豊かな自然、雄大な景色、多様な食などを有する地域の魅力を発信し、移住・定住の促進を図る 銚子連絡道路などの整備進展や空港の機能強化等を活用し、農林水産業や観光業の更なる振興を図るとともに、洋上 	<ul style="list-style-type: none"> 圏央道や銚子連絡道路、長生グリーンラインの整備進展の効果を生かし、各種産業活動の促進を図る 市町村と連携して計画的な土地利用を進め、インターチェンジ周辺等の多様な産業の受け皿づくりを促進する サーフィンの適地として注目が高まる中、九十九里の魅力求めて集まる人々の活力や感性、ライフスタイルなどをまちづくりや産業振興に生かす 主要産業である農林水産業の更なる発展を図るとともに、豊かな自然と、都心を含む多方面への良好なアクセスなどの地域の魅力を発信し、移住・定住を促進する 幹線道路ネットワークの整備進展や空港の更なる機能強化の効果を生か 	<ul style="list-style-type: none"> 海や里山などの魅力的な自然環境を発信するとともに、訪日外国人旅行者も意識したプロモーションを推進し、成田空港や羽田空港からの更なる誘客を促進する 二地域居住や自然の中での子育てなど多様なライフスタイルを実現できる地域の魅力、都心や内房ゾーン等への通勤圏であることを積極的に発信し、移住・定住の促進を図る 6次産業化に取り組む農林漁業者などを支援するとともに、有害鳥獣対策等に取り組む 空き公共施設等の地域資源の活用や洋上風力発電事業等の新たなビジネス展開により雇用の創出を図る 主要幹線道路につながる国道や県道の整備進展による効果を生か 	<ul style="list-style-type: none"> 広域的な幹線道路が集まる交通の要衝であるアクアライン着岸地には、企業や住宅等の集積が進んでおり、アクセスの優位性を生かした、雇用・居住の場としての役割の向上を図る 東京湾臨海部の工業地帯において、企業間連携の促進や国への規制緩和の働きかけを通じ、脱炭素社会の実現に向けた企業の事業環境の向上を図る 市町と連携して計画的な土地利用を進め、インターチェンジ周辺等の多様な産業の受け皿づくりを促進する 海はたると大規模商業施設など集客力の高い観光資源の魅力を積極的に発信し、県内外からの観光客の呼び込みにつなげる 広域的な幹線道路ネットワークの整備進展に

<p>・首都圏各地や成田空港とのアクセス向上を生かし、企業等の活動を支援するとともに、地域の魅力を積極的に発信することで、首都圏での都市間競争における更なる優位性の向上を図る</p>	<p>る、国内外の人・モノ・財の流れを各分野に取り込みつつ、観光や産業振興など幅広い分野で、行政、住民、企業が一体となった地域振興を図る</p>	<p>風力発電事業の進展等により新たな雇用を創出し、地域の活性化を図る</p>	<p>活用し、農林水産業や観光業など各種産業の連携による地域振興を図る</p>	<p>し、観光業や農林水産業の振興を促進するとともに、豊かな自然環境等の魅力を積極的に発信することで、観光客の誘客や移住・定住を促進する</p>	<p>よるアクセス向上を生かし、企業誘致の推進や工業地帯の競争力強化などに取り組むことで、本県の産業経済をけん引する拠点の一つとなることを目指す</p>
---	--	---	---	--	--